2023年８月31日

お客さま本位の業務運営に関する取組状況および ＫＰＩ実績値の公表について

当組合は、いのち（生命）の源である食を支え、人はもとより全ての生命を守り、地域に必要な協同活動により、食と緑と水の環境を保全し、協力しあう思いやりや助け合う心を育む「生命いのち・地域ちいき・環境かんきょう・和わを大切にし、協同活動を通じて地域社会に貢献します。」を理念として掲げています。

当組合では、この理念のもと、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに組合員・利用者の皆さまに質の高い金融サービスの提供を通じて、安定的な資産形成に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶ上で比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通ＫＰＩ」）も同時に公表いたします。

市川市農業協同組合

Ⅰ.取組状況

1　お客さまへの最適な商品提供 【原則２本文および（注）、原則３（注）原則６本文および（注２、３）】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、長期・積立・分散投資に適した商品を選定し、お客さまの多様なニーズにお応えし、最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的なモニタリングにより見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします。

＜投資信託の取扱い商品ラインナップ（2023年3月末時点）＞

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 （前年度末：1）	3 （前年度末：3）
株式型	3 （前年度末：3）	5 （前年度末：5）
REIT型	2 （前年度末：2）	2 （前年度末：2）
バランス型	7 （前年度末：7）	

※　現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

Ⅰ.取組状況

1　お客さまへの最適な商品提供 【原則２本文および（注）、原則３（注）原則６本文および（注２、３）】

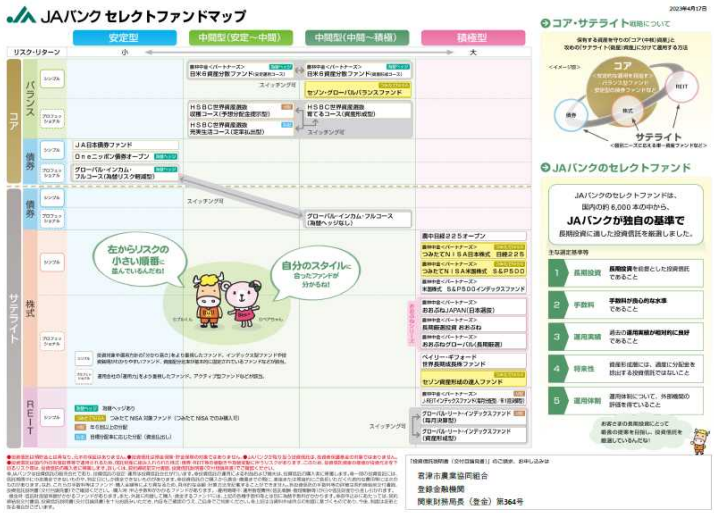
- 特定の投資運用会社に偏ることなく、長期・積立・分散投資に適した商品を選定し、お客さまの多様なニーズにお応えし、最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的なモニタリングにより見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします。

＜投資信託の取扱い商品ラインナップ（2023年3月末時点）＞

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 （前年度末：1）	3 （前年度末：3）
株式型	3 （前年度末：3）	5 （前年度末：5）
REIT型	2 （前年度末：2）	2 （前年度末：2）
バランス型	7 （前年度末：7）	

※　現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

＜商品選定の考え方＞

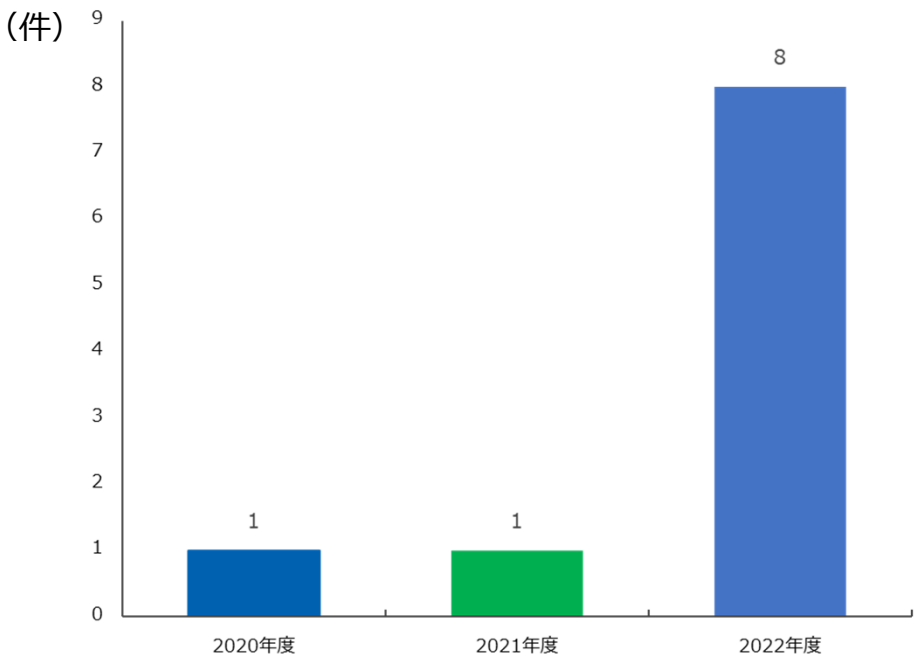


※商品選定の考え方：JAバンクHP
https://www.jabank.org/sp/tameru/tousisintaku/select/

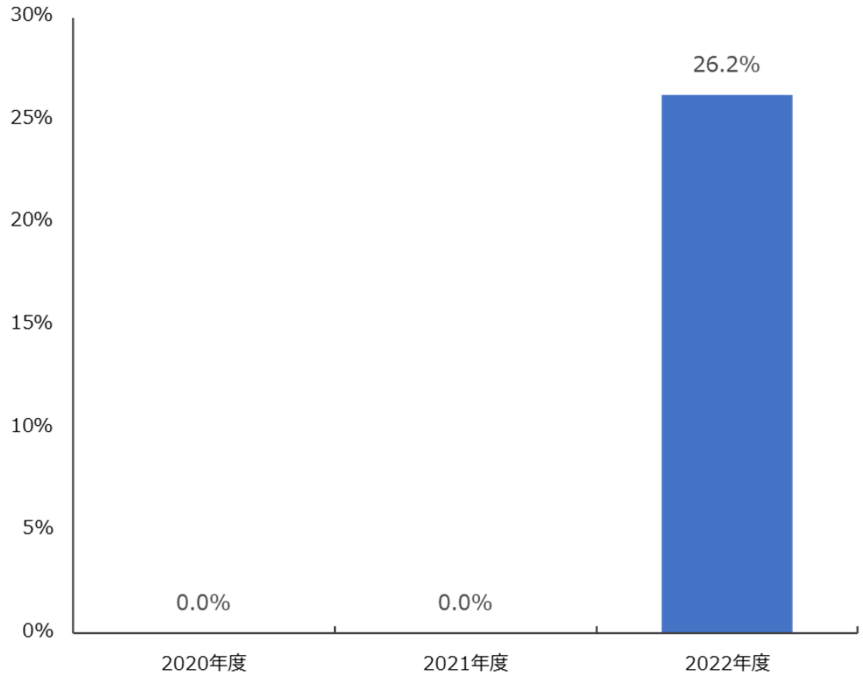
2　お客さま本位のご提案と情報提供①【原則２本文および（注）、原則５本文および(注１～５）、原則６本文および（注１、２、4、５）】

- お客さまに安定的な運用成果をご享受いただくために、お客さまの知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用されるお客さまが増加し、「毎月分配型ファンド」を選択されるお客様の比率が26.2%となりました。

＜投信つみたて契約件数の推移＞



＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞



2　お客さま本位のご提案と情報提供②【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

- お客さまの投資判断に資するよう、各商品におけるリスクの特性や手数料等の重要な事項については、重要情報シートや目論見書等を使用することで商品の内容を分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、ＪＡバンクセレクトファンドマップ、ＪＡバンクファンドマップ等を活用のうえ簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しました。
- なお、2022年4月から重要情報シートを導入しております。

3　利益相反の適切な管理 【原則３本文および（注）】

- お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき、適切に管理しております。
- サービスの高度化を目指すため、利益相反の発生可能性がある取引については、月次・年次の定期モニタリングにより適切な管理を行います。

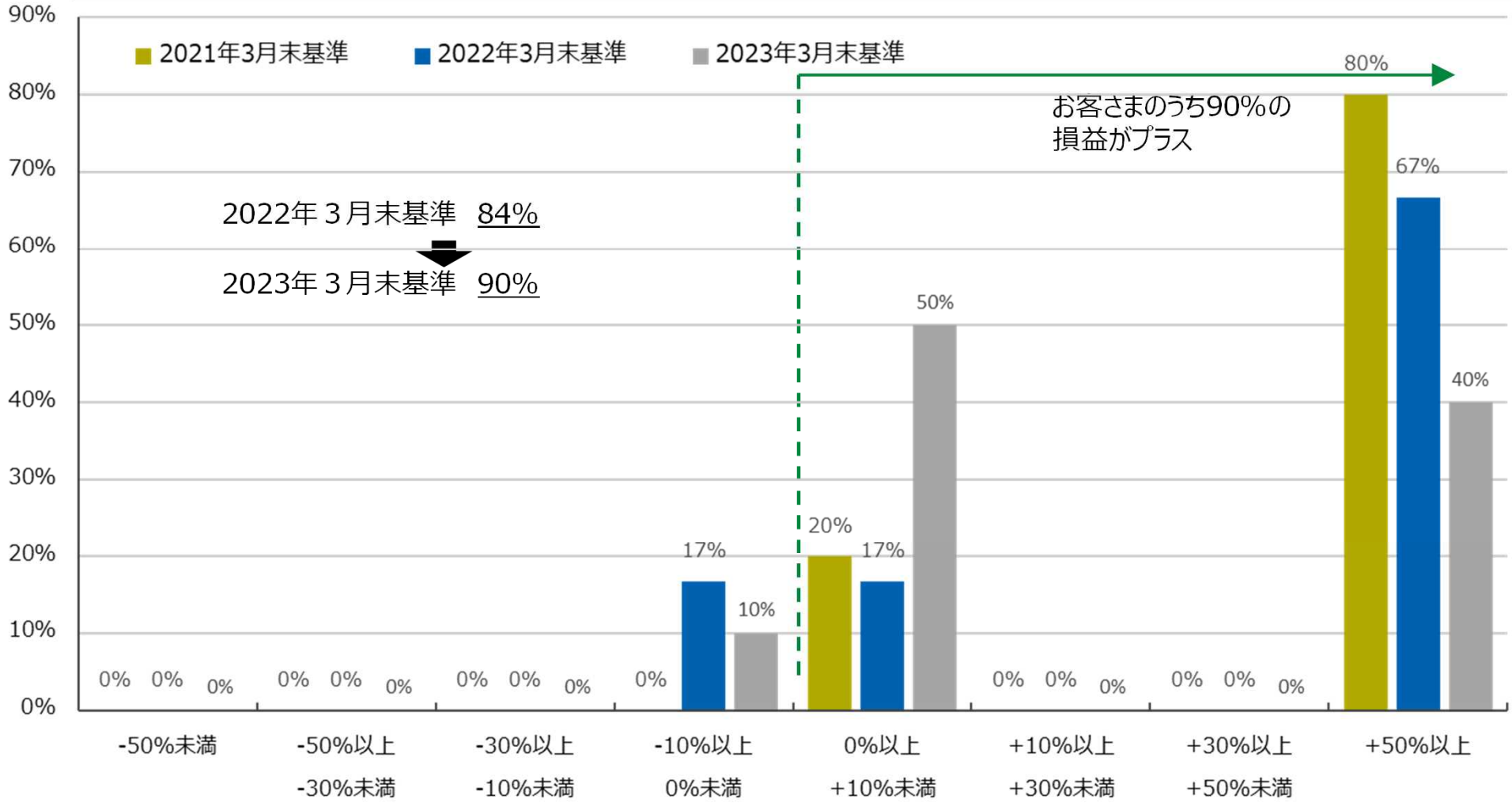
4　お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築 【原則2本文および（注）、原則6（注5）】【原則７本文および（注）】

- ＪＡバンクでは、高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、各種研修会を通じた指導を行い、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築していきます。

Ⅱ.比較可能な共通ＫＰＩ

1　運用損益別顧客比率（投資信託）

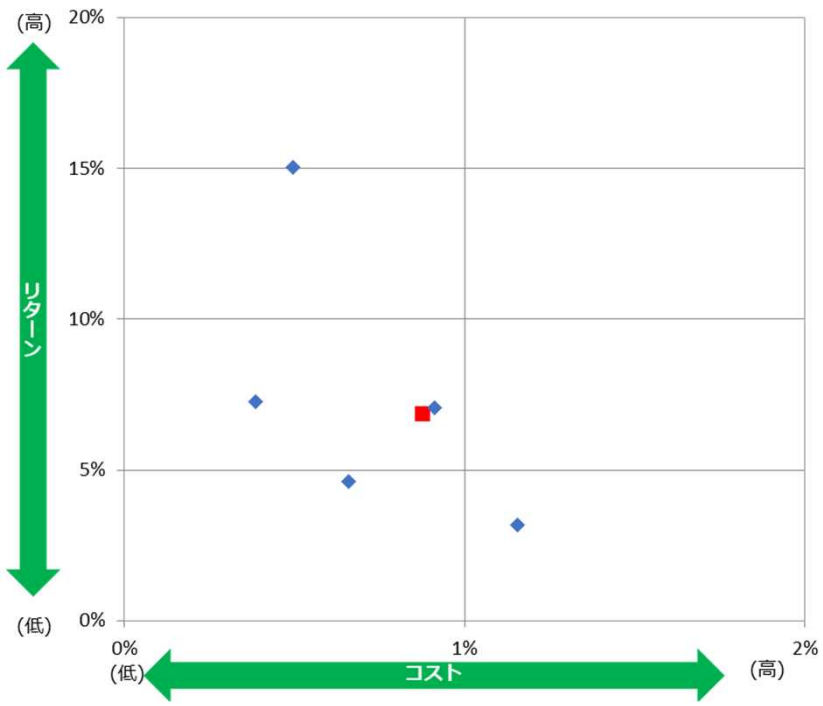
- 「運用損益別顧客比率」は、お客さまへ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2023年3月末時点では全体の90%のお客さまの損益がプラスとなりました。



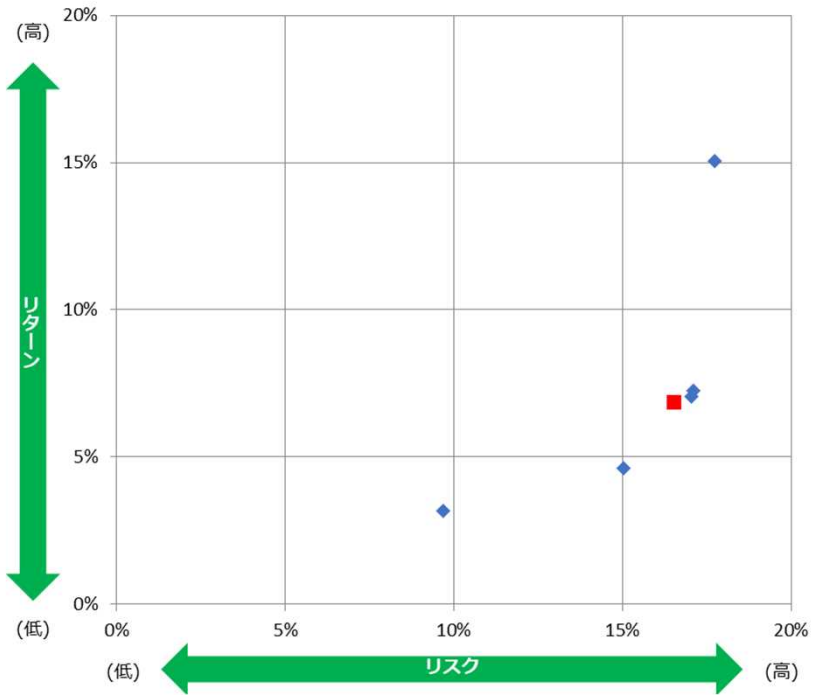
2　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）　（2023年３月末）

- ＪＡバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.88%、平均リスク16.54%に対して、平均リターンは6.86%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞

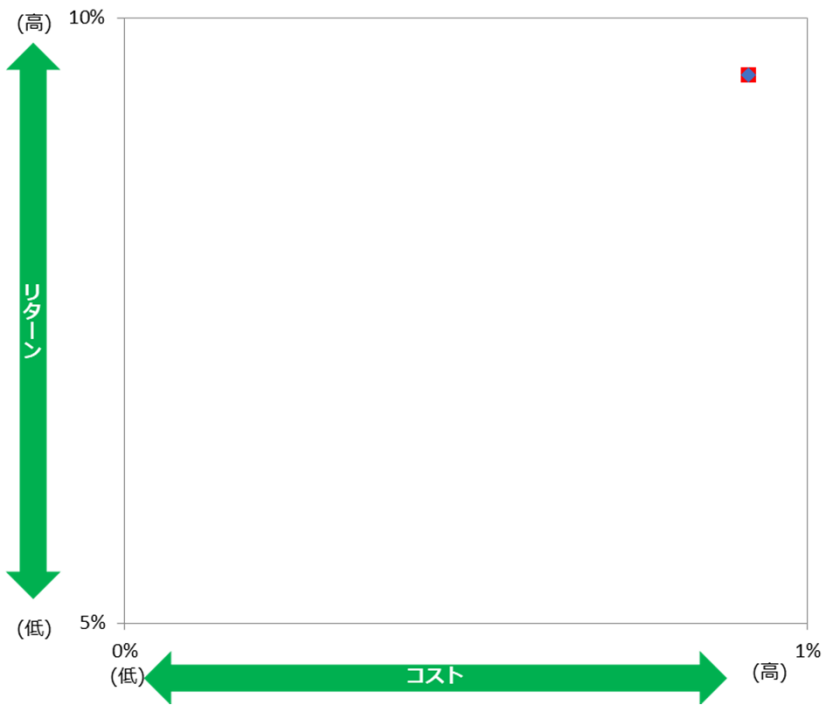


※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※赤い点は平均値を示しています。

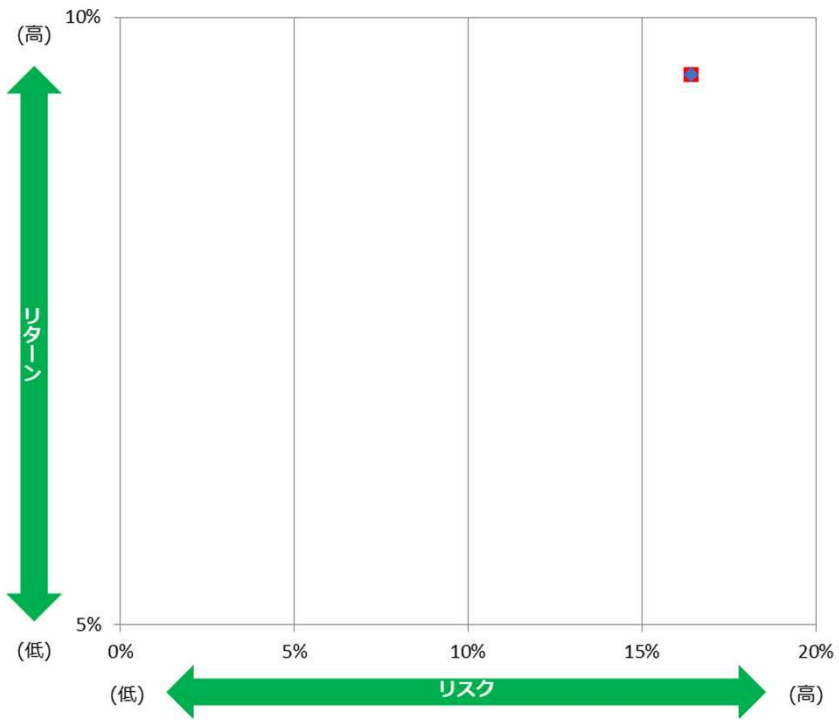
2　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）　（2022年３月末）

- 2022年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.91%、平均リスク16.42%に対して、平均リターンは9.53%となりました。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞

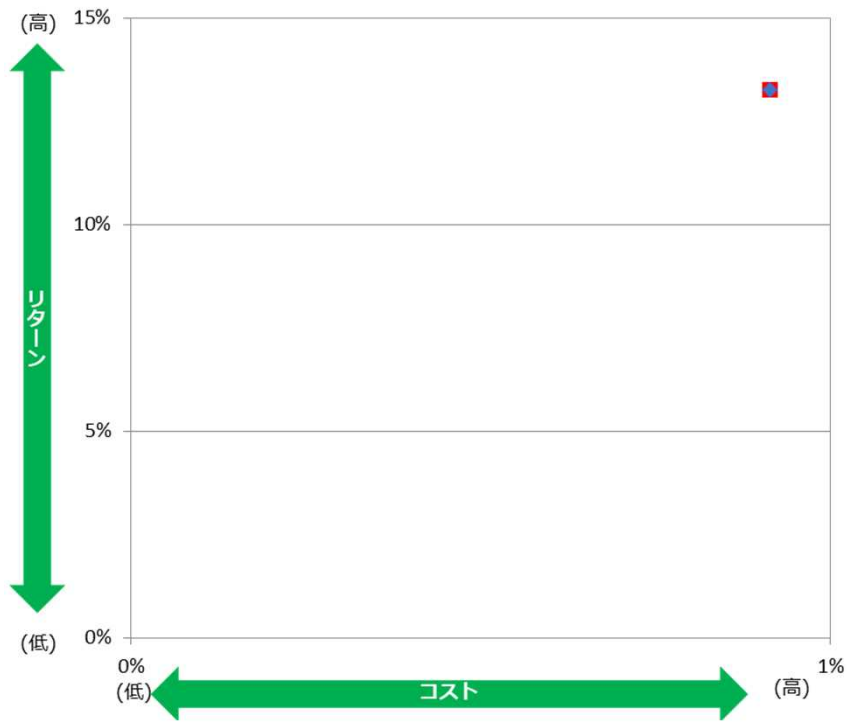


※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※赤い点は平均値を示しています。

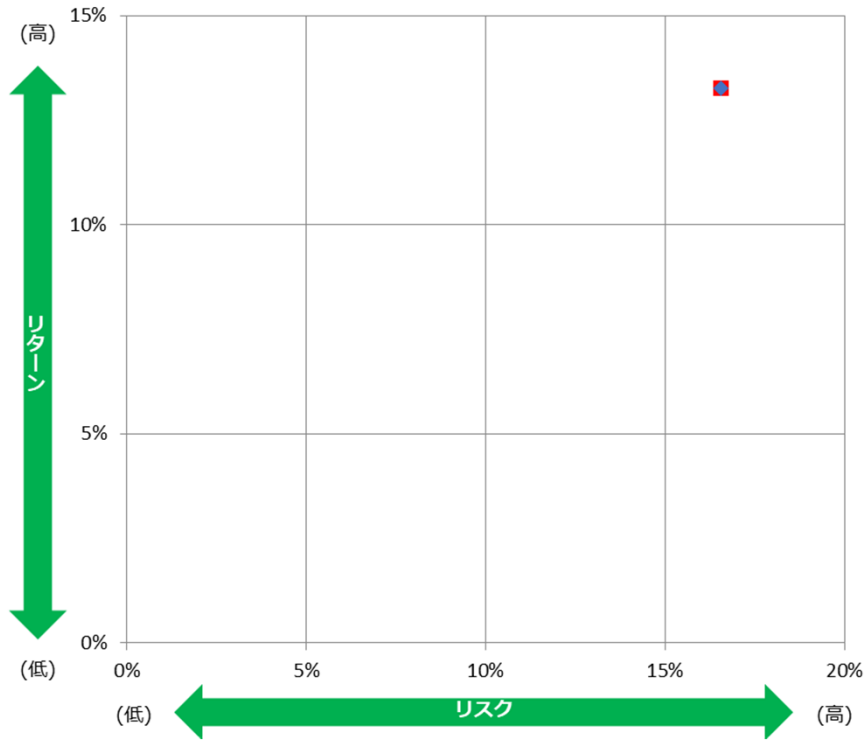
2　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（3/3）　（2021年３月末）

- 2021年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.91%、平均リスク16.56%に対して、平均リターンは13.27%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※赤い点は平均値を示しています。

2　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）　（2023年３月末）

【預り残高上位20銘柄（設定後5年以上経過したもの）】

	ファンド名	運用会社	リターン（年率）	リスク（年率）	コスト全体
1	農中日経２２５オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	7.05%	17.04%	0.91%
2	日米６資産分散ﾌｧﾝﾄﾞ(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	3.16%	9.68%	1.16%
3	つみたてＮＩＳＡ日本株式　日経２２５	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	7.26%	17.10%	0.39%
4	Ｊ－ＲＥＩＴインデックス（毎月分配型）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	4.62%	15.04%	0.66%
5	つみたてＮＩＳＡ米国株式　Ｓ＆Ｐ５００	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.05%	17.74%	0.50%
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		6.86%	16.54%	0.88%

※ 2023年３月末基準時点における共通ＫＰＩの対象となるファンド数は5本となります。
※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

２　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）　（2022年３月末）

	ファンド名	運用会社	リターン（年率）	リスク（年率）	コスト全体
1	農中日経２２５オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	9.53%	16.42%	0.91%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		9.53%	16.42%	0.91%

※ 2022年３月末基準時点における共通ＫＰＩの対象となるファンド数は1本となります。
※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

２　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（3/3）　（2021年３月末）

	ファンド名	運用会社	リターン（年率）	リスク（年率）	コスト全体
1	農中日経２２５オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	13.27%	16.56%	0.91%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		13.27%	16.56%	0.91%

※ 2021年３月末基準時点における共通ＫＰＩの対象となるファンド数は1本となります。
※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。